

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣南高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月19日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣南高等学校会議室
- 4 参加者

会長	藤吉 和彦	サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
副会長	石坂信一郎	岐阜協立大学副学長
委員	浅野 宏	本校育友会長
	五十川智宣	大垣ケーブルテレビ代表取締役社長、同窓会副会長 (欠席)
	臼井さよ子	(有)トータル・ハーモニー あいあいデイサービス センター 管理者・相談員・介護福祉士
	高橋 輝雄	浅草連合自治会相談役、浅中南自治会顧問
	竹中 拓也	太平洋工業株式会社人事部主査
	藤田万喜子	岐阜聖徳学園大学教育学部名誉教授
	三輪 賢司	岐阜県公民館連合会長
オブザーバー	伊藤 秀光	岐阜県議会議員(欠席)
学校側	種田 昭彦	校長
	辻 昌宏	教頭
	中藪 淳	事務長
	今枝 誠	教務部長
	西脇 一徳	生徒指導部長
	辻 大治	進路指導部長
	下野恵理子	特別活動部長(欠席)

5 会議の概要

(1) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画について

(2) 意見交換並びにご助言

意見1：生徒のICT機器の活用状況はどうか。

⇒本年度の入学生からICT端末の自費購入が始まった。ようやく1年生のタブレットが揃い、教科指導とともに進路指導等でも活用が進んでいる。

意見2：進路指導では、学年によって呼びかけの違いはあるのか。

⇒進路のリサーチ、アナウンスを全校生徒に対して行っている。

意見3：習熟度による少人数授業は、どの教科で行っているのか。

⇒数学、理科で採用している。

意見4：文部科学省が発表した『ネクストハイスクール構想』は、本校にどのような影響を与えるか。

⇒拠点校から何らかの還元があるだろうが、現時点においては未定である。

意見5：生徒たちの授業の様子は真剣で良い。私立高校の授業料が無償となり公立高校は苦しくなったが、オーケストラ部やフェンシング部等の部活動の活躍や、地域との交流が魅力的な高校となるのではないか。

意見6：エアコンが効いていて教室内は涼しく、学習しやすい環境であった。また進路の掲示物が、生徒の興味を引くものであった。

意見7：今年度自転車の乗車に関する規制が変わったが、生徒への周知はなされているか。

⇒昨年度3月から全校集会等で呼び掛けている。

意見8：コミュニケーションの入口として挨拶は大切。就職時の面接でも重要であるため指導してほしい。また学習も部活動も力を出し切ることを習慣づけてほしい。

意見9：授業見学をして、教員の指導が熱心であった。

意見10：交通マナーの指導についての話があったが、本校生徒の自転車マナーは良い。優しく感受性豊かな生徒が多い。

意見11：学校の学力向上に対する努力はわかった。今年度も進路対応をしっかりとやってほしい。

意見12：県立高校で学校経営の独自性を出すのは難しいが、選ばれる学校づくりをしなければならぬ。岐阜県は卒業後に県外へ人材が流出し、地元に残らないため、地元の大学等とも連携し対応していくべきである。

意見13：夏季にはTシャツを認めるなど服装の自由化をしているが、生徒は良識のある服装であった。気遣いができる生徒が多い。自治会への参加者が減り、人口が減少していくが、安心が保たれる人材を地域で育てる必要がある。

意見14：本校の生徒は真面目であるから、自己規制をしてしまう。自分をもっと開放させてあげたい。

意見15：これからは、講義式の授業ではなく、ICTを活用したり生成AIを使いこなしたりするなどの新しいスキルが必要である。若い教員が増えてきており、教員の育成にも力を入れてほしい。

6 会議のまとめ

- ・今年度における本校の教育指導の重点及び学校経営計画について承認が得られた。各委員から提示された意見を参考に、今後も本校の運営を考えていきたい。